

ふれあいトムともだより No7

鶴牧・落合・南野地域福祉推進委員会

地域の防災を考える

ふれあいトムともでは、今年度上半期は「防災」をテーマに進めてきました。8月には地域住民の方から「東京防災」の紹介と多摩市防災安全課職員から鶴牧・落合・南野地域の防災について、また9月には地域の先進事例としてエステート4・5住宅管理組合防災担当理事の方からお話をいただきました。その一部を紹介します。

首都直下型地震が起きたら

- 首都直下型地震が起きた場合の震度は震度6弱から6強と予測されています。
- 倒壊の恐れが低いと予測されるコンクリート建築居住者は、自宅避難が基本となります。
- 避難所は、自宅居住が困難な人や肉体的・精神的に自宅避難が難しい人への対応を想定しています。
- 市の備蓄は想定避難者33,000人分であり、自宅避難者は自ら備えが必要です。



まずは自助

- 最低3日分の食料品や日用品とともに、ガス・電気・水道の代替品の用意も必要です。
- 鶴牧・落合・南野地区の給水拠点には南野給水所。豊ヶ丘公園・多摩中央公園には災害対策井戸があり、生活用水に利用できます。

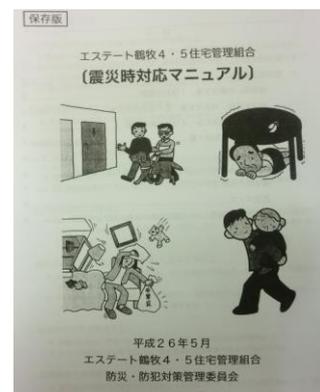
近助力・共助力を高めよう



- 在宅避難者への食料の配分などは自治会・管理組合が調整することとなります。近所同士の安否確認や情報収集、周辺自治会などとの連携が求められます。
- 普段からご近所や、支援が必要な人等とのコミュニケーションがとれるよう、近助力・共助力を高めていくことが必要です。

= エステート鶴牧4・5住宅管理組合の防災の取り組み =

- ・東日本大震災の後、防災に関するマニュアルを作成。住民の安否確認など現実的対応ができるよう常に見直しを図っています。
- ・支援を希望する高齢者や幼児のいる世帯等の「要配慮者登録」を毎年実施。取扱い要綱をつくり、理事や防災委員などがリストを保管し、災害時には優先して支援することになっています。



エステート鶴牧4・5住宅管理組合が独自にまとめた震災時対応マニュアル

多摩市総合防災訓練が実施されました。

多摩市では年 1 回大規模な防災訓練を実施しており、今年は鶴牧・唐木田・中沢・山王下地区を対象に、鶴牧中学校にて実践に即した訓練が行われました。

防災訓練

消火訓練



隔壁破壊訓練



小さな子どももフライパンを使って割ることが出来ました。

地域の方も大勢参加



宿泊訓練は鶴牧中、大松台小、南鶴牧小の体育館で行われ、中学生を含む地域の皆さんが参加し、炊き出しや避難所運営ゲームなどを体験しました。

ミーティング



炊き出し



防災食：アルファ米・缶詰など

避難所運営訓練・宿泊訓練

体験を通して、体育館の寒さを感じたり、火起こしが難しいことが分かったり、中学生の若い力が頼りになったことなど、色々実感することが出来たようです。

災害時に大切なことはまずは自分を守り、次に近所で助け合うこと。近助力を高めるためには日頃の挨拶や顔を合わせる事が大事になってきますね。

ふれあいトムともでは後半「コミュニティから始まる見守り」について学んでいきます。地域でのつながりについて一緒に考えてみませんか？

ふれあいトムともとは

「ふれあいトムとも（鶴牧・落合・南野地域福祉推進委員会）」は、自治会・住宅管理組合やサロン、民生・児童委員、地域包括支援センターなど様々な団体のネットワークづくりを推進しています。

「ふれあいトムとも」で情報共有や意見交換を行ない、「地域の横のつながり」をつくることで、地域の課題解決や活性化を図る応援をします。

日頃、地域で感じている心配事やご意見など、ぜひ皆様の声を聞かせて下さい！
たくさんのご参加をお待ちしております。

編集・発行
問合せ

ふれあいトムとも 世話人会
多摩市社会福祉協議会 地域福祉推進課 まちづくり推進係
多摩市関戸 4-72 ヴィータ・コミュニエ7 階 多摩ボランティア・市民活動支援センター内
TEL:042-373-5616 FAX:042-373-6629 担当:佐藤・大槻・畔上